

平成 25 年度 『第二・第三大山荘』 事業報告書

1. 入居者の状況

第二大山荘

	氏名	性別	年齢	入居年	日中活動場所
1	Aさん	男	66	平成 21 年 9 月	引佐草の根作業所
2	Bさん	男	62	平成 21 年 9 月	細江あすなる作業所
3	Cさん	男	50	平成 21 年 9 月	細江あすなる作業所
4	Dさん	男	48	平成 21 年 9 月	大山ファーム
5	Eさん	男	39	平成 21 年 9 月	細江あすなる作業所
6	Fさん	男	67	平成 24 年 3 月	大山ファーム

第三大山荘

	氏名	性別	年齢	入居年	日中活動場所
1	Gさん	女	67	平成 21 年 9 月	大山ファーム
2	Hさん	女	40	平成 25 年 4 月	平成 25 年 12 月 1 日退去
3	Iさん	女	53	平成 21 年 9 月	大山ファーム
4	Jさん	女	48	平成 21 年 9 月	細江あすなる作業所
5	Kさん	女	34	平成 21 年 9 月	四季の郷生活介護
6	Lさん	女	45	平成 22 年 6 月	大山ファーム

※平成 25 年 12 月、第三大山荘女性入居者 1 名が病気療養のため退居された。

2. 支援の状況

ケアホームでの支援は、社会福祉法人昴会の基本理念に沿って「生き生きとした暮らしの実現」を目指し支援してきた。生き生きとした暮らしの実現のために、他人との共同生活なのでいくらかの制約はあるものの、本人の生活リズムや自由、要望に応えることを大切にしてきた。

平日昼間は、法人内外の作業所等日中活動場所に通った。土曜・日曜、祭日は買い物や外出など入居者ひとり一人の要望に可能な限り応える支援を行った。

職員が 1 名増員されたことで地域との交流機会は年々増えてきており、地域の認知度は上がっているように感じる。また月に 1 回職員会議を行い、利用者個々への支援を確認してきた。

生活支援は、個別支援計画に基づき、管理者、生活支援員、世話人が日常的生活支援にあたった。また、日中活動の場である四季の郷の職員、大山ファーム職員、あすなる作業

所職員、看護師、栄養士等とも連携・協力して支援を行ってきた。特に健康管理面では、毎日起床時検温を実施し、日々の体調観察に努めた。定期的に精神科と呼吸器科、循環器へ通院している入居者がいたので通院による治療及び服薬管理支援を継続した。また、受診が必要な疾患を発症した入居者には、通院介助を実施・対応した。

第二・第三大山荘の行事としては、季節を感じることや外出を行う等、日々の生活が単調にならないように心掛けた。主な外出先は以下の通りである。

日帰り外出

(外食・フラワーパーク・舘山寺遊覧船)	7月
えんしん映画招待	8月
東大山 秋祭り	10月
豊橋総合動植物公園	11月
クリスマスイルミネーション (市内ショッピングセンター)	12月

3. 災害防止の取り組み

○火災等災害発生防止に努めるとともに、定期的に火災、地震等の災害を想定した訓練を実施した。また、社会福祉法人 昂会合同防災訓練及び四季の郷と合同防災講習会に参加した。

防災訓練実施状況

4月6日	・休日の昼間の火災を想定しての避難訓練及び消防設備の取り扱い訓練
6月8日	・法人防災訓練（各事業所合同訓練）
7月6日	・夜間を想定しての避難訓練及び召集訓練（夜間実施）
9月7日	・総合防災訓練（東南海地震を想定しての避難訓練）
11月2日	・社会福祉施設総合防火訓練（夜間の火災を想定しての消化・避難訓練）
1月19日	・夜間の火災を想定しての避難訓練
2月12日	・防災講習会（四季の郷と合同講習会）